

2004.7.15

≡どこでも食品衛生掲示板≡

**牛などの家畜に触れた後は、
十分に手を洗いましょう**

今年の7月、千葉県で腸管出血性大腸菌（O121）感染症の患者が集団発生しました。

これらの患者は動物に触れ合える牧場を訪れていましたが、ここで飼育されている牛からも腸管出血性大腸菌（O121）が検出されました。患者と牛から検出された菌の遺伝子パターンが非常に似ていたことから、患者らは牛と触れ合った際に感染した可能性があると考えられました。

このことから、牛などの家畜に触れた後には、次のことに注意しましょう。

牛などの家畜の腸内には、腸管出血性大腸菌（O121、O157等）がいることがあります。

牛などの家畜に触れた後は、石鹸などを使って十分に手を洗いましょう

牧場などで食品の調理や加工の体験学習を行う時は、石鹸などを使って手の汚れを洗い落とし、消毒薬で消毒してから行いましょう

動物由来感染症について詳しく知りたい方は、次のホームページを参考にしてください。

検疫所ホームページ「動物由来感染症を知っていますか？」

<http://www.forth.go.jp/mhlw/animal/index.html>

長野県ホームページ「動物由来感染症を予防するには・・・」

<http://www.pref.nagano.jp/eisei/syokuhin/nyuniku/SARS001.pdf>

内容に関するご意見・お問い合わせ先

- ・長野県庁衛生部食品環境課
（電話 026-235-7155, FAX 026-232-7288, 電子メール syokukan@pref.nagano.jp）
- ・最寄りの保健所食品衛生相談窓口